

# ITER計画の現状について

平成15年2月26日

文 部 科 学 省

# 第8回ITER政府間協議について

- 1 . 日 時 : 2月18日(火)・19日(水)
- 2 . 場 所 : ロシア・サンクトペテルブルグ
- 3 . 参加極 : 日本、カナダ、EU、ロシア、アメリカ、中国
- 4 . 概 要 :

## 米中の新規参加

冒頭、これまで交渉に参加してきた4極(日、加、EU、露)で、新たに参加を表明した米国及び中国の参加を認めるとともに、両国の参加を歓迎。

## 各極からの近況報告

日本から、1月に小泉総理が訪露し、日露首脳会談とクルチャトフ研究所の講演においてITERの重要性に言及したこと等について発言

さらに、青森県木村知事から、国際学校実現を約束するとともに、新幹線が八戸まで開通したこと等公共交通の改善について発言。

## サイト共同評価

各サイトに長所・短所はあるが、どのサイトであってもITER計画の実施地として必要な条件は満たしているとした報告書を承認。

## 今後の手順

サイト選定に向けた今後の手順について議論し、出来るだけ早期に協定を完成させ、ITERの建設が開始できるよう、サイト選定に必要な事項(資金分担、装置・機器の物納配分等)について議論を開始することを合意。

# サイト共同評価報告書について

## < 全体結論 >

サイト間に差異はあるものの、提出されているサイト提案はすべて問題ないものであり、全てのサイト要件、設計の前提条件を完全に満たす。

したがって、どの候補サイトにおいてもITER計画が実施可能であり、成功すると思われる。

ただし、サイト間の違いがあることも確かであり、それぞれのサイトについて、設計の前提条件を満足させるためにホスト側が用意すべき追加的措置を明確にした。

## < 各サイトに関する指摘の例 >

### クラリントン

- ・燃料となるトリチウムを一般市民が出入りする土地を横切ることなく輸送可能。
- ・他のサイト提案ではホスト国が受け持つことになっているサイト整備費を現在のカナダ提案では他の極が分担。

### 六ヶ所村

- ・大きな港湾施設があり、サイトとも既存の公道で結ばれている。また、優れた地形や地質特性を有する。
- ・電力料金が幾分高めであり、運営費への影響について他のコストとともに今後評価。

### カダラッシュ

- ・カダラッシュ研究所があり、ITERの建設・運転はその支援を受けられる。
- ・海から遠く、輸送のための道路改修が必要。一番大きい超伝導コイルは輸送できないため、サイトでの現地製作が必要。

### バンデヨス

- ・標準設計のサイトレイアウトが可能であるが、鉄道によりサイトが2つの土地に分断されており、いくらかの制約になっている。
- ・生活費の水準はヨーロッパの平均を下回るものの急速に上昇している。

# 世界のITERサイト候補地



# 今後の手順について

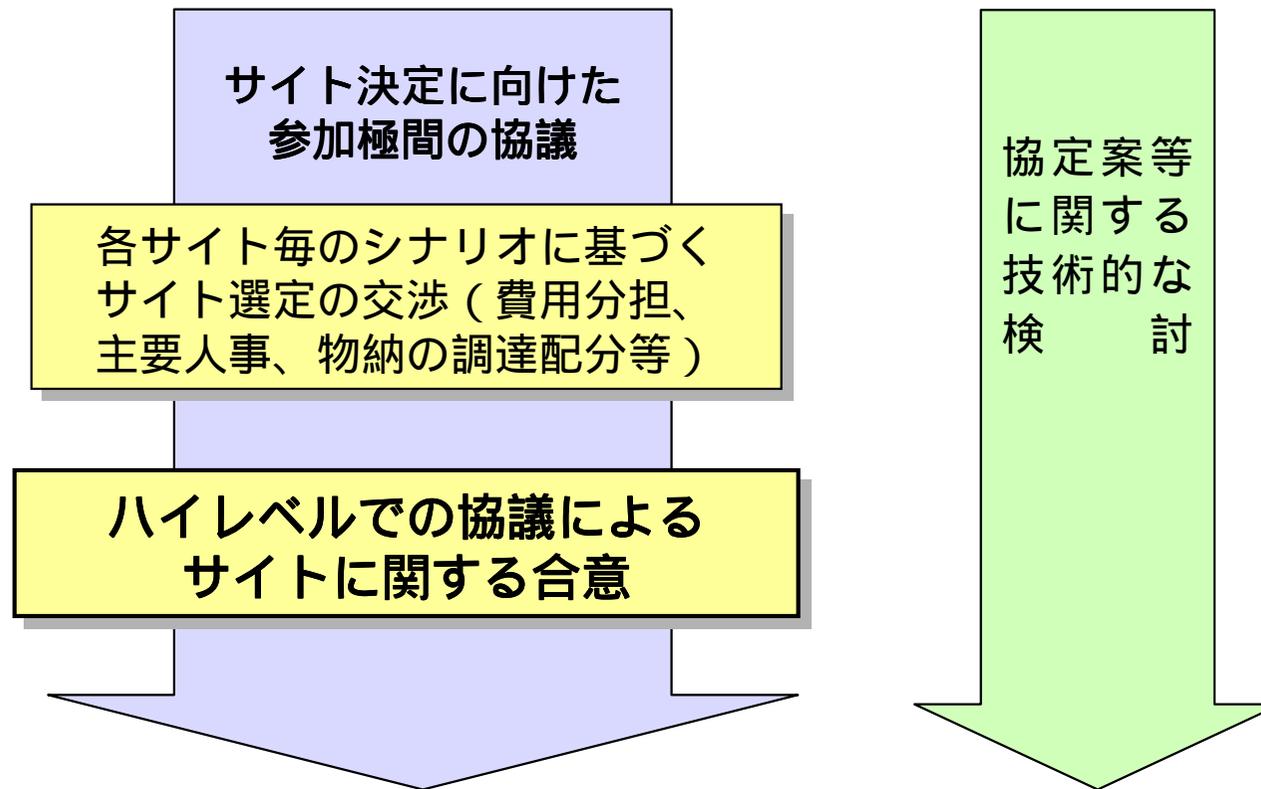
2001年11月～2003年2月 政府間協議を8回開催

日本、EU及びカナダから4つのサイトが提案。それらについて国際的な専門家グループが技術的なサイト共同評価を実施

ITER共同実施協定、シナリオ\*の考え方、運営組織等について検討

米国及び中国の新たな参加 日、加、EU、露、米、中の6極が交渉に参加

\*シナリオ：各サイトにおける各極の資金分担、調達配分、主要人事等のパッケージ



出来るだけ早期に協定を完成させ、ITERの建設を開始